

オンライン講座「女性相談員と学ぶDV・セクハラ・性暴力」アンケート結果
入庁1年～3年目の職員17人、他2人 計19人（女10人・男9人）

1 今回のテーマと同様のセミナーを受講したことはありますか？

- ・ある 1回→2人 3回→1人
- ・ない 16人

2 今回、受講して感じたことはありますか？（例えば、初めて知ったこと、意識が変わったことな

（女性）

- ・DVは約4人に1人暴力を振るわれていると知り、結構身近にも起こることだと感じた。
- ・被害を受けている方が多いこと。
- ・言葉以上に、その人の人生に深く傷ができ、大きく左右され問題となると感じた。
- ・歴史を知らなければ、現在を知らないと聞き、歴史もしっかり勉強しなければと思った。

多くの方が被害にあっているのを、インターネットやテレビのニュース、新聞記事で耳、目にすることがあるが、約4人に1人が暴力を受けているのを知り、改めて他人事ではない、身近な出来事であると感じました。

- ・自分が思っているよりも身近な問題だと感じました。自分たちが学生の頃には、DVについて、あまり学ぶことがなかったように思うので、学生の頃から教育を受け、知ることが大切だと感じました。
- ・被害にあった方の相談件数が少ないことが意外でしたが、「恥ずかしい、思い出したくない」等の理由からということを知り、納得しました。どうしたら相談しやすくなるのか考えさせられました。（そもそも被害がないのが1番ですが・・・）
- ・話を聞く時のポイントとしても参考になりました。
- ・DV被害を4人に1人は受けたことがあるという調査を知り、身近な課題だと感じました。

（男性）

- ・DV等が個人の問題ではなく、社会の問題ということ。今後は常に意識していきたい。
- ・DV・セクハラ・性暴力といった被害が日本だけでなく世界中で起きていることを初めて知った。「自分の家庭は大丈夫」とう考えではなく客観的な視野をもち、少しでも世の中から暴力の被害がなくなるよう、まずは自分自身の意識変革が大切だと思った。
- ・人身売買が日本でも多いことと、以前は日本ではDVはないと考えられていたことを初めて知りました。
- ・自分そう思っていなくても、相手の受け取り方次第では、セクハラやDVになってしまうことがあるため、自分の発言の一つ一つに注意をしなければいけないと思った。
- ・直近5年間で、年間セクハラ事件が100件も増加していることにいた。
- ・自分たちが思っている以上に被害が多く、社会的根付いている。
- ・4日に1人の妻がDVで殺されていること。
- ・DVの暴力のサイクルにハネムーン期があること。
- ・DVやセクハラなどの被害が思ったより多かった。
- ・働く女性が増えたことで、DVの被害が少したということはあるのかなと思った。

3 受講して気づきがありましたか？

(女性)

- ・暴力のサイクルはとても恐ろしいと感じた。ハネムーン期があるからみんな勘違いしてまう。
- ・多くの方が悩んでいて、加害者の意識はなかなか変わらなくて、悩んでいる人の気が晴れたり、心が落ち着いたり、前向きに行動する力になることができるのは不安になりました。
- ・自分や自分の大切な友人や家族が被害者、加害者になりえるかもしれない。
- ・女性がなかなか声をあげて被害について話すことは難しいので、実態把握や解決も難しいと思いました。
- ・目に見えにくい問題であり、発信することにも勇気がいることで、社会全体で考えていくことが重要と改めて思いました。

(男性)

- ・私が考えているよりも世の中で（日本）でDV・セクハラ・性暴力をしている家庭の割合が高いことを知った。（高いことに驚いた）
- ・意外とDV等と知らない事例があるので、もっと周知していった方がよいと思いました。
- ・DV・セクハラ・性暴力について、正しい知識を持つことが大切だと感じた。
- ・ワンストップセンターが各所に設置されているので、何かあった時は、相談することは大切だと感じた。
- ・DVやセクハラは個人問題ではなく、社会的な問題である。
- ・法律の大切さに気づいた。

4 これまでにDV・セクハラ・性暴力の被害にあったことがありますか？

- ・あった（ DV→1人 ）
- ・ない 18人

5 被害にあった方にお尋ねします。

- ・相談しなかった（理由については無記入）

6 今後、プライベートや仕事にどう生かそうと思いますか？

(女性)

- ・業務上、子育てを行っている。女性、男性等と関わることがあるため、まずは、しっかりDV、暴力等について理解し、相談を受けることができるよう基盤をつくっていきたいと思います。
- ・きっかけがないと、なかなか相談もできないと思うので、もし何か話を聞いた時は、専門の窓口にご相談するように伝えたい。（そのような相談機関があることを知らないことも多いため）
- ・相手にその気がなくてもセクハラが発言等があった場合、さらっと今の発言がセクハラであることを指摘して気づかせてあげられたら良いかなと思いました。
- ・相談があつたり、話したい相手がいた際に、安心して話せるような関りができるように、支援やサポートについて理解しておきたいと思いました。
- ・DVなどで困っている人がいたら、声をかけていこうと思った。

(男性)

- 相手に寄り添うこと
- もちろん
- まず、自分がしにようにすることだと思いました。その上で、相手のことを考えた発言をしたいです。
- DV・セクハラを起こさないように気をつけたい。
- 女性との接し方を見直そうと思った。
- 直接的な関係がなくても、二次被害などを防ぐことができる。
- 本講義を受講した職員たちから、DV等の知識を身につけ、身の回りでいつもと様子が違う方を発見し、声かけを行いたい。
- 相手の気持ちを考え、行動、発言をしないといけないと感じました。
- まずは自分自身が加害者とならぬよう、日々の言動、行動等に細心の注意を払いながら、関わる人たちが、皆同じ人間であることを常に頭に入れて生活していきたい。
- 周囲でそのようなことが起こっているのを発見した際に、見て見ぬふりをせず、救える命が身近にあれば、救っていく積極的な精神をもっていきたい。

7 今回の講座を自分以外には、どなたに受講してもらいたいと思いますか？

同僚：9人 / 上司：7人 / 家族：5人 / 彼氏：1人 / 彼女：3人 / 友人：9人 / 学生：10人 / その他（要介護者と介護者）

8 その他（自由記入）

- 大変お忙し中、ご講義をしていただき、感謝しています。正しい知識とDVを受けた方の気持ちの変動を理解することができました。（男）
- 講師の方のマイク？スピーカー？にエコーがかかっているように聞き取りづらかったです。（女）